

USER MANUAL

Abbey Road One: Vibrant Reeds

目次

はじめに	1
ダウンロードとインストール	4
SPITFIRE APPの設定	6
専用プラグイン	7
概観	8
プリセット・セレクタ	10
メイン・コントロール	12
シグナル・ミキサー	14
テクニック・セレクタ	17
エフェクト	20
テクニック・エディタ	21
トップ・メニュー	23
マイク・シグナル	30
マイクのグルーピング	32
テクニック	33
付録	35
FAQとトラブルシューティング	35
テクニック、マイク、ミックス	41
デフォルトのCCマッピング	42

はじめに

Abbey Roadの功績多きStudio Oneで捉えられた巧みなパフォーマンスが、あなたの作品に輝きとカラーを加えます。

本製品では、オクターヴ演奏によるオーボエとクラリネットの魅力的なアンサンブル、またオーボエとコーラングレの美しいペアリング演奏を収録。ロンドンの第一線級セッション・プレイヤーたちが演奏し、多くの映画音楽で耳にする伝統的でシネマティックなペアリングを取り上げた本製品は、クリエイティブなコントロールと得も言われぬリアリズムを即座にもたらし、オーケストレーション・パッチを提供します。必須かつユニークなテクニック、煌めく長音、遊び心満載のスタッカート、心惹くモルダント、そして弊社の新しく使いやすいレガート・パッチなどを備えており、銀幕向けのスコアリングに必要なすべてを提供します。

本製品は、Abbey Road One: Orchestral Foundationsへのオプションとしてだけでなく、単体のライブラリとしてもご利用いただけます。

動作環境

Mac

- macOS 10.15~14
- 最小: 2.8GHz i5 (クアッドコア)、8GB RAM
- 推奨: 2.8GHz i7 (6コア)、16GB RAM、Apple Silicon、64bit DAW

Windows

- Windows 10およびWindows 11 (最新のサービスパック、64ビット)
- 最小: Intel 2.8GHz i5 (クアッドコア) またはAMD Ryzen 5、8GB RAM
- 推奨: Intel 2.8GHz i7 (6コア) またはAMD R7 2700、16GB RAM

- ダウンロードサイズ 7.45 GB
- インストール時に必要なディスク容量 7.45 GB
- 専用プラグイン (AU, VST2, VST3, AAX)

⚠️ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

驚異的な輝き

本製品は、2つのオーボエと2つのクラリネットの表現豊かなパフォーマンスを美しく捉え、伝統的なオクターブ奏法でオーケストレーションされた透明なサウンドを提供します。オーボエとコーラングレのペアリングも加えられ、『E.T.』や『Harry Potter』、『Total Recall』など、ハリウッド映画のスコアでよく聴かれる感動的サウンドを実現します。本製品には木管楽器のオーケストラの一般的なブレンドとして、レガート、ロング、スタッカート、メジャーおよびマイナーのモルダントなど、さまざまなテクニックが含まれており、表現豊かなテーマやメロディを書くことに集中しながら、高品質でシネマティックなサウンドを素早く作成することができます。

Abbey RoadのStudio Oneの誉れ高き音響で演奏された本製品は、Abbey Road Oneのオーケストラ・レンジの製品をさらに豊かなサウンドにします。

銀幕の音響

多くの作曲家が夢見る、Abbey RoadのStudio One。Studio Oneの歴史は、ここで録音されたスコアと切っても切れない関係にあり、これまで製作された多くの映画に感情やムード、魔法を提供してきました。『Star Wars』 『Lord of the Rings』 『Harry Potter』 『Avengers: Endgame』 などの名作は、すべてStudio Oneで録音されました。豊かなトーンと顕著なリバーブにより、Studio Oneのサウンドは壮大、まさに、映画を象徴するサウンドです。

本製品、そしてAbbey Road One Selectionsは、世界的にヒットした映画で演奏されたのと同じ一線級のミュージシャンをあなたの元に招き、マルチ・グラミー賞受賞エンジニア、Simon Rhodes (『Avatar』 『Hugo』 『Harry Potter』) に録音され、Abbey Roadのマイクとアウトボード機材を使用しています。

ORCHESTRAL FOUNDATIONSとともに

Abbey Road Studiosとの初のコラボレーションである90人編成のシンフォニック・オーケストラ、Abbey Road One: Orchestral Foundationsを発展させた本製品は、単体のライブラリ製品です。Studio Oneの信憑性高い音響、卓越した奏者、受賞歴のあるサウンド・エンジニア、貴重なマイクを駆使し、お気に入りの作曲家と同じ

方法でレコーディングされました。既存のシンフォニック・オーケストラ・ツールキットをグレードアップさせたり、Orchestral Foundationsと組み合わせて、高らかに勇壮なテーマを作成できます。

美しくモダンなデザインの本製品とすべてのAbbey Road One Selectionsは、受賞歴のあるプラグインに収められ、追加ソフトウェアを必要とせず、すべての主要なDAW (VST, VST3, AU, AAX, NKS対応) に直接ロードできます。使いやすく、直感的、かつ刺激的なこのプラグインは、作曲家による作曲家のためのものです。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。

Sign In

E-mail

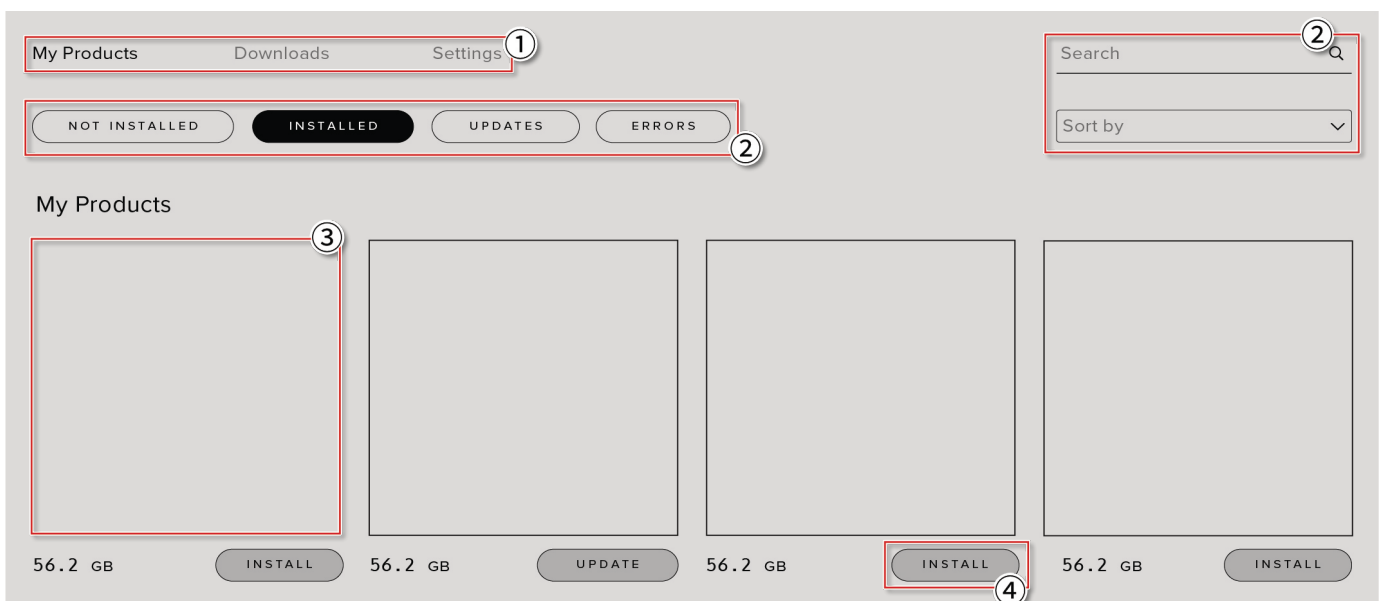
Password

[FORGOT PASSWORD](#)

[REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#)

[LOGIN](#)



① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

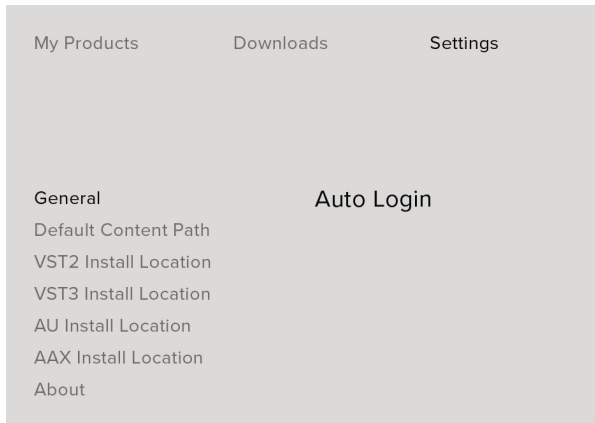
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

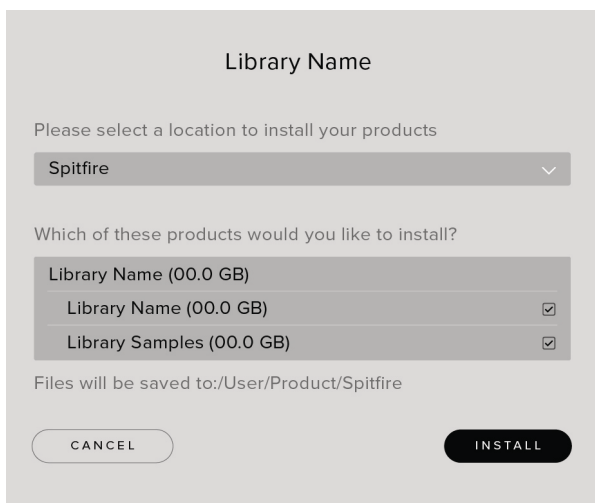
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



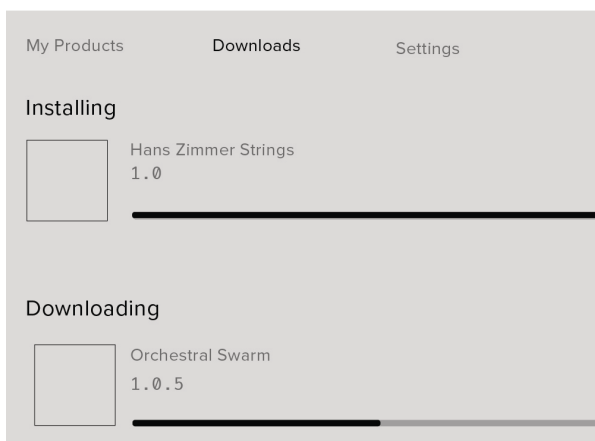
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ) の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の **My Products** タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。



Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

専用プラグイン

他の弊社製品とは異なり、Kontakt PlayerやKontaktのフル・バージョンは必要ありません。本ソフトウェアは、VST, AU, AAX用のまったく新しいプラグインです。

- ⚠ これらの動作は各DAWのバージョンやOSまたはソフトウェアの表示言語によって異なる場合があります。詳しくはお持ちのDAWに付属する各マニュアル内の該当ページをご確認ください。

LOGIC PRO X

- 新規トラックのダイアログ・ボックスを開きます。
- [ソフトウェア音源]を選択し、[インストゥルメント]ドロップダウンの下を見てください。
- AU Instruments > Spitfire Audio > Abbey Road Oneを選択。

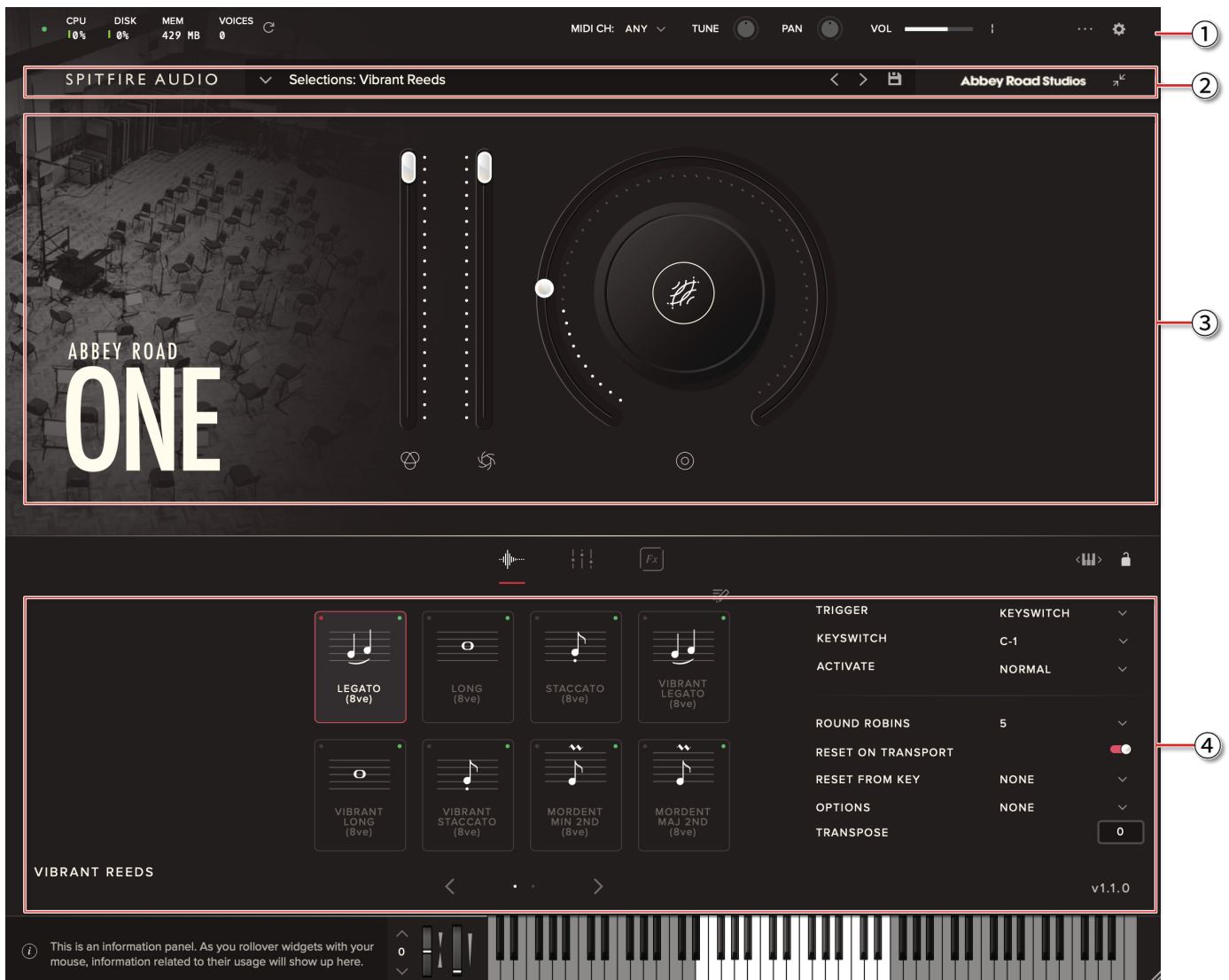
CUBASE

- トラック・ウィンドウを右クリックし、'Add Instrument Track'を選択します。
- [インストゥルメント]ドロップダウンの下のAbbey Road Oneを選択。
- Add Trackを選択。

PRO TOOLS

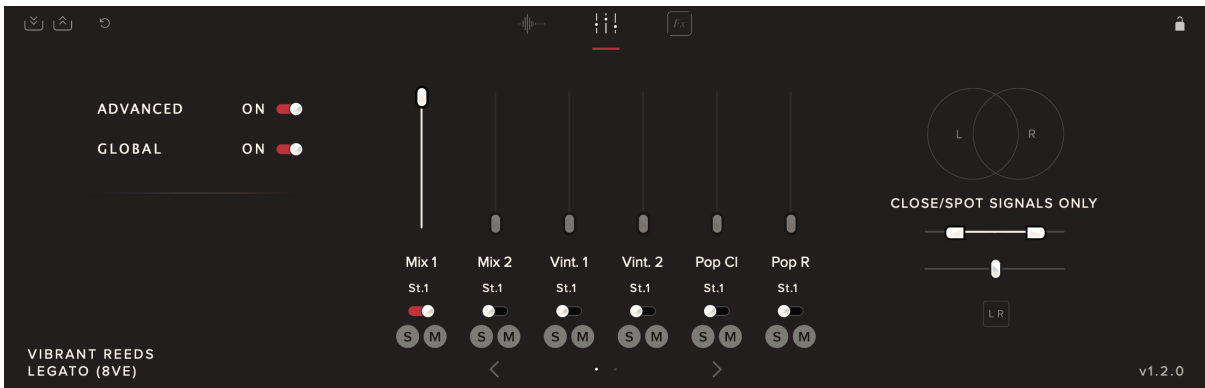
- 画面上部の'Track'メニューから'New'を選択。
- ポップアップでStereoとInstrument Trackを選択し、'Create'を押します。
- 最初のInsertスロットで、マルチチャンネル・プラグインを選択し、'Instrument'を選択。
- Abbey Road Oneの選択肢を開けます。

概観

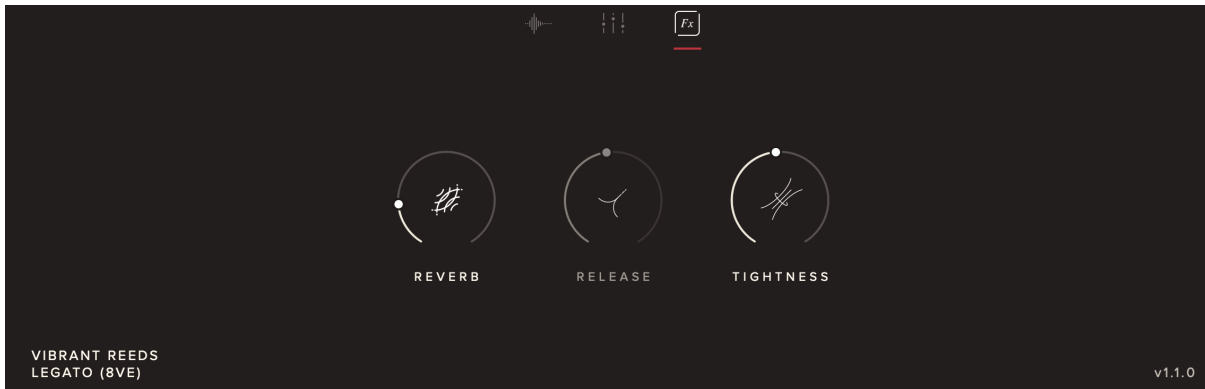


- ① トップ・メニュー
- ② プリセット・セレクタ
- ③ メイン・コントロール
- ④ テクニック・セレクタ

⑤ シグナル・ミキサー



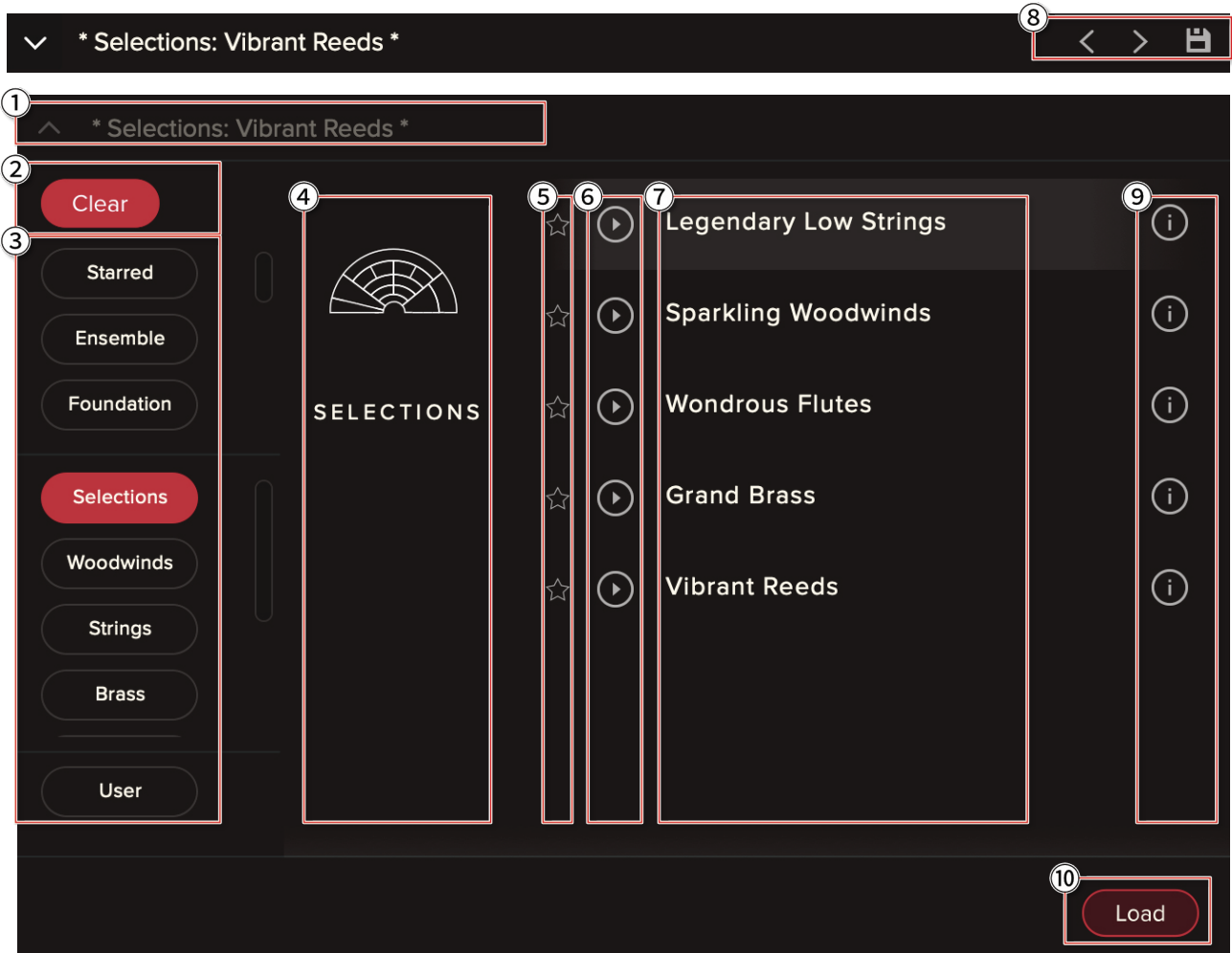
⑥ コントローラ



⑦ キーボード、INFO (情報)



プリセット・セレクト



① プリセット名

選択中のプリセットを表示。

② フィルタをクリア

すべてのインストゥルメントをまとめて表示。

③ フィルタ

クリックすると、各フィルタでグループ化されたプリセットのみを表示。

④ インストゥルメント・グループ

利用可能なプリセットをスクロールすると、インストゥルメント・グループがここに表示されます。

⑤ お気に入り

☆ボタンを押して、お気に入りとしてフィルタに追加。

⑥ プレビュー

プリセットを読み込むことなく、そのプリセット音色の短い例を再生。


⑦ プリセット・リスト

プリセット・リストをスクロール表示します。プリセットをロードするには、リスト項目をダブルクリックするか、[Load]ボタンをクリック。

⑧ 前、次、保存

プリセット・ビューを折りたたむと、3つのアイコンが表示。

前(<)と次(>)は、単に次の利用可能なプリセットに移動します(フィルタ有効時、フィルタ結果のプリセット・リストをスクロール)。

保存ボタンをクリックし、プリセットに名前を付けると、Userフィルタの下に表示。

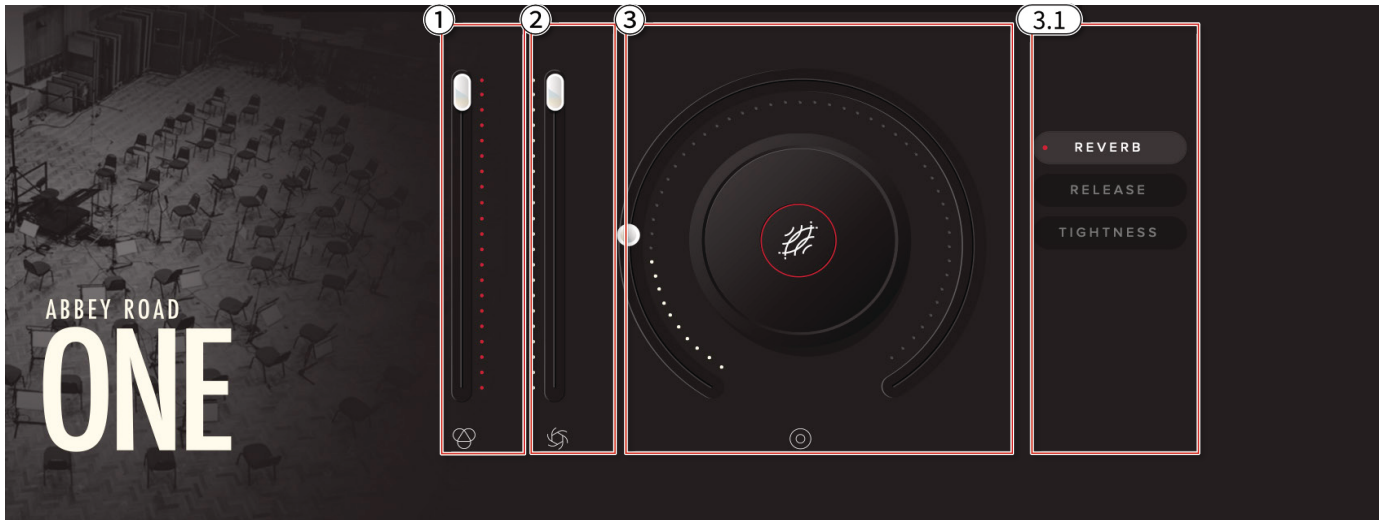
⑨ 情報

[i]アイコンにマウスオーバーすると、プリセットの関連情報を表示。

⑩ ロード

プリセットを選択し、ロードする際に押すボタン。

メイン・コントロール



① ボリューム

一般にExpressionと呼ばれるシンプルなレベル・コントロール。

② ダイナミック

演奏中のダイナミック・レイヤーを調整します。ボリュームと組み合わせて使用すれば、演奏がより音楽的になります。

③ ノブ

自由に設定可能なノブで、特定のテクニック（奏法）で使用可能な各種パラメーターをコントロールできます。ノブにマウスオーバーすると黒色になります。

3.1 機能の割り当て

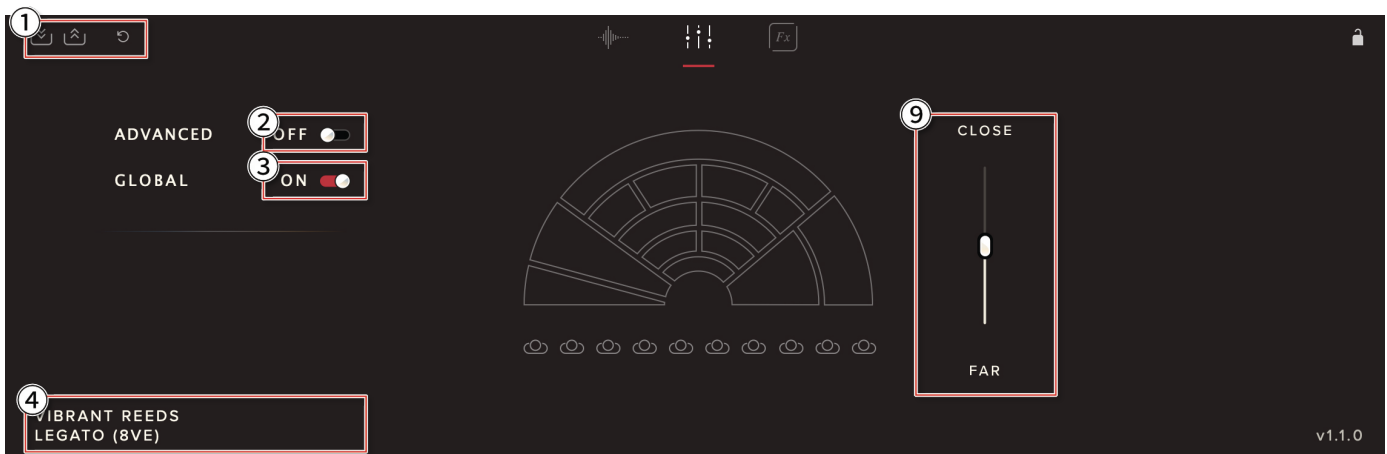
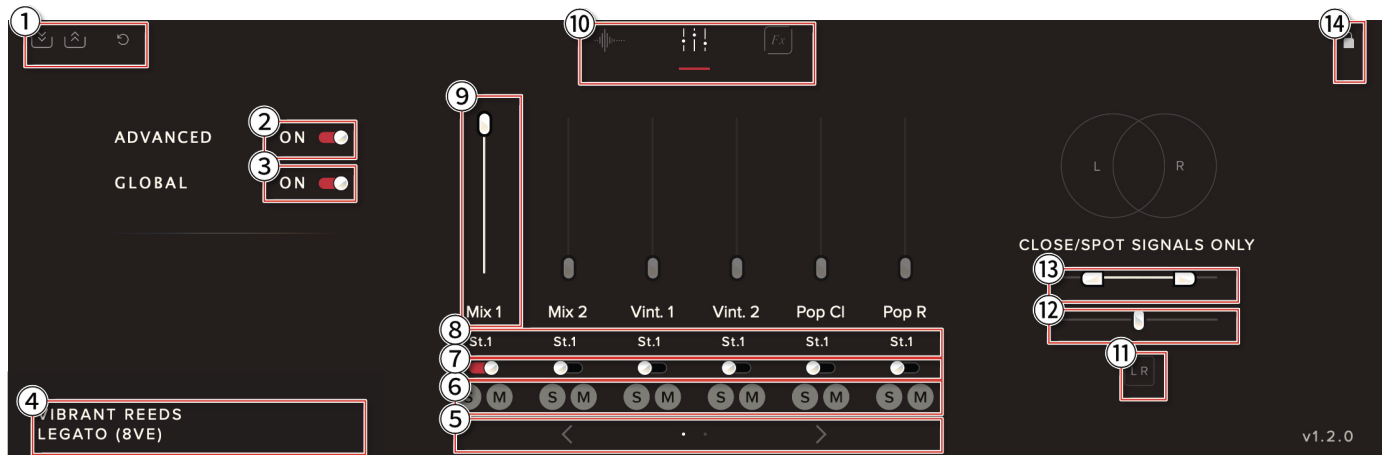
クリックすると、利用可能なコントロールのいずれかをノブに割り当てられます。

Reverb	サウンドに残響を加えます。
Release	ロング・アーティキュレーションの終端(余韻)を伸ばします。
Tightness	サンプル波形の出だしをカットしてレスポンスを速くすることで、タイトなパッセージの演奏時にキレのあるサウンドを得ます。

これらのコントロールは、右クリックして表示されるメニューから設定することで特定のMIDIコントローラにアサインできます。

- 💡 MIDIコントローラをノブにアサインしたとき、そのMIDIコントローラはノブ自体にアサインされるのではなく、ノブにアサインされたパラメータに紐づけられる点にご注意ください。

シグナル・ミキサー



① ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、📁をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上でAbbey Road One > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

② 詳細設定

デフォルトでロードされるビュー。Close, Tree, Ambientの各シグナルの音量をフェーダーで操り、楽器の音の近さを調整できます。

③ グローバル

ミキサーに加えた変更が、プリセット内のすべてのテクニックに反映されます。Offにすると、ミキサーへの変更は選択したテクニックのみに影響します。

④ テクニック名

⑤ シグナル・ナビゲーション

右矢印>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑥ ソロ／ミュート

[S] (ソロ) をクリックすると、そのシグナルのみが再生されます。複数のシグナルの[S]をクリックすると、複数のシグナルを分離して聞くことができます。

[M] (ミュート) をクリックすると、そのシグナルを消音します。複数のシグナルの[M]をクリックすると、複数のシグナルを消音します。

- [S]をShift+クリックすると、複数のチャンネルをソロにすることができます。
- [S]や[M]をAlt/option+クリックするとすべてのソロまたはミュートが解除されます。
 - 💡 これらの動作は、Solo Latch (ソロ・ラッチ ; 後述) を使用して変更できます。
- Ctrl/command+クリックで、レベルを100%にスナップします (そしてシグナルをオンにします) 。

⑦ シグナルのOn/Off

ここでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります) 。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、Abbey Road One の左上のLED を注視してください。

⑧ マルチ出力

アクティブな状態でシグナル・フェーダーの下をクリックすると、そのシグナルを別のステレオ出力にアサインできます。DAW でのミキシング時における自由度が向上します。

⑨ シグナル・フェーダー

ここで各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIラーンできます。

⑩ ビュー選択

テクニック・スイッチャー、ミキサー、エフェクトを切り替えます。テクニック・セレクトとエフェクトについては別項参照。

⑪ 左右チャンネルの反転

左右のチャンネルを入れ替えます。

⑫ パン

ステレオ・フィールド内での近接シグナルとスポット・シグナルの位置を調整します。

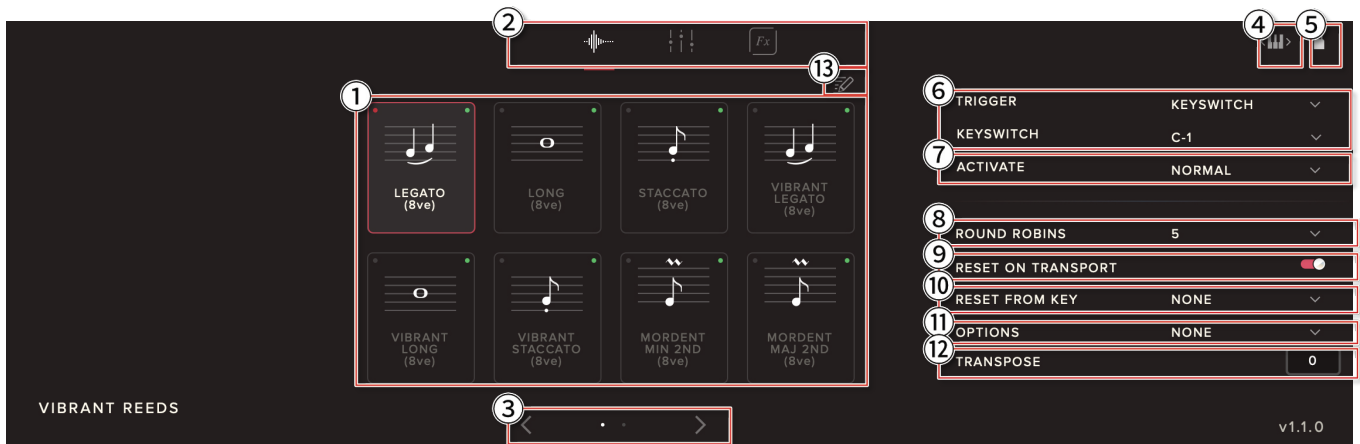
⑬ ステレオ幅

近接シグナルとスポット・シグナルのステレオ幅を調整します。右クリックでMIDIラーンできます。

⑭ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

テクニック・セレクタ



① テクニック・スイッチャー

クリックしてテクニックを選択。Shift+クリックで複数のテクニックを選択できます。左上の赤い点は、再生されるテクニックを示し、アウトラインは、このページ上での他のオプションからの設定変更を示します。

② ビュー選択

テクニック・セレクタ、ミキサー、エフェクトから選択。ミキサーとエフェクトについては別項参照。

③ テクニック・ナビゲーション

8つ以上のアーティキュレーションが使用可能な場合に表示されます。右矢印>をクリックして、追加のテクニックにアクセスできます。

④ キースイッチ調整

クリック&ドラッグでキーボードのキースイッチを左右に移動します。

⑤ ロック

テクニック・セクションがロックされ、不要な変更を防ぐことができます。

⑥ テクニック・トリガー

様々なパラメータを使用してテクニックをトリガーできます。

KEYSWITCH	キーボードのキーで各テクニックを選択。選択されたキーは、未選択のテクニックでは緑色、選択されたテクニックではオレンジ色で表示されます。
CC RANGE	コントロールのCCと値の範囲(または単一の値)でテクニックを選択。
VEL. RANGE	演奏の強さに応じてテクニックを選択。ソフトに演奏するときはロングを、ハードに演奏するときはピチカートをトリガーするとよいでしょう。
MIDI CHANNEL	入力されるMIDIチャンネルに基づいてテクニックを選択。
SPEED	演奏速度に応じてテクニックを選択。特定のテクニックに切り替えるためのノート間の時間間隔を指定してください。

⑦ アクティブ

テクニックの切り替えを "NORMAL" と "LATCH" で切り替えます。

NORMAL	次のキースイッチが押されるまで、そのアーティキュレーションを維持。
LATCH	キースイッチのキーを押している間だけ、そのアーティキュレーションを維持。

⑧ ラウンドロビン

繰り返されるノートが機械的で不自然に聞こえないようにする手法。同じノートを演奏するたびに、同じ音程、同じアーティキュレーションの別のサンプルが順番に鳴ります。ここでは、そのバリエーション数を調整できます。

⑨ トランスポートでリセット

DAWのトランスポートの再生ボタンを押すたびに、ラウンドロビンのバリエーションがリセットされるようになり、毎回同じ再生結果が得られるようになります。

⑩ キーからリセット

キースイッチを使ってラウンドロビンをリセットできます。ここではそのキースイッチを選択。

⑪ オプション

NEIGHBOUR ZONE RR	隣の音から音を借用し、ピッチに合わせて移調することで、ラウンドロビン数を稼ぎます。
LAYER X2	ラウンドロビンを2つ重ねて音を厚くします。ラウンドロビンの1/2のペアの後に3/4のペアを再生するため、ラウンドロビン数は実質的に半分になります。
LAYER X2 (NO SKIP)	上記と同様ですが、1/2のペアの後に2/3のペアが続くため、ラウンドロビン数は保持されます。
LAYER +2	演奏されたキーの2つ上のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。
LAYER -2	演奏されたキーの2つ下のサンプルをラウンドロビンとして使用します。サンプルは再生に適したピッチに移調されます。

⑫ トランスポーズ

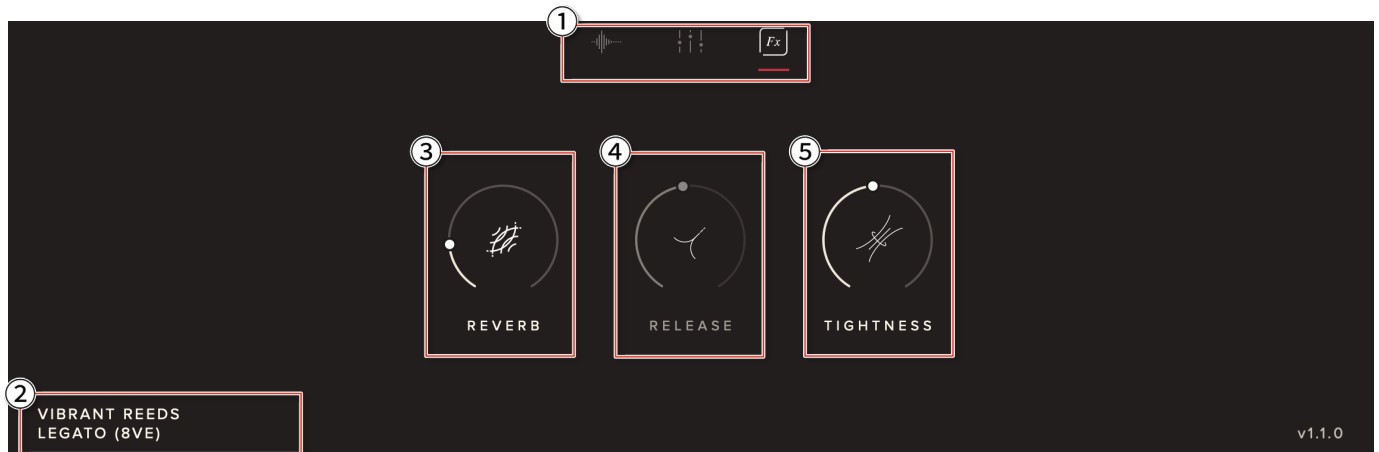
1半音単位で上下にトランスポーズします。このコントロールはサンプルをストレッチするのではなく、入力された MIDI ノートをトランスポーズします。

サンプルを調整するには、TUNE ノブを使用します。

⑬ テクニック・エディタ

テクニック・エディタを開き、プリセットのカスタマイズや編集を行います。

エフェクト



① ビュー・セレクト

テクニック・セレクトタ、ミキサー、エフェクトから選択。テクニック・セレクトタとミキサーについては別項参照。

② テクニック名

③ リバーブ

サウンドにリバーブを追加します。

④ リリース

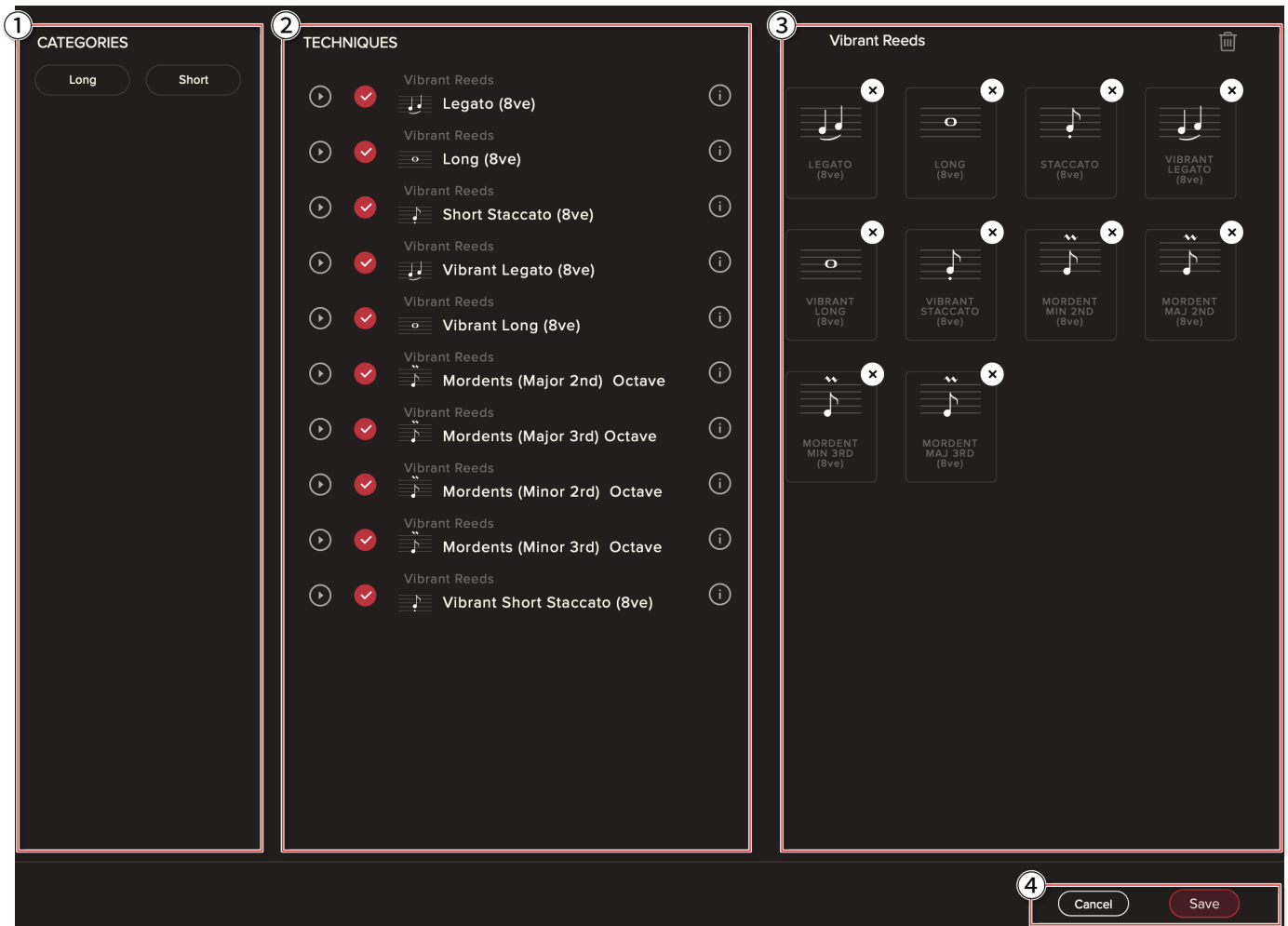
リリース・トリガーの音量を変更。Longテクニックにのみ適用されます。

⑤ タイトネス

ショート・ノートの始まりは、楽器の「音」の始まりではないことがよくあります。このコントロールは、ノートをよりタイトにしますが、リアリズムを損なう恐れもあります。

リアリズムとタイトさを両立するためには適度なタイトネスを設定した上で、DAW上のトラックに対してマイナス値のディレイを設定します。お使いのDAWのマニュアルも参照してください。

テクニック・エディタ



ここでは、現在のプリセットからテクニックを削除したり並べ替えたりできます。


① カテゴリー

特定のプリセットで利用可能なすべてのテクニックをフィルタリングできます。

② テクニック

各プリセットで利用可能なすべてのテクニックが表示されます。[+]をクリックすると、現在のプリセットにテクニックを追加できます。

③ テクニック・アレンジャー

現在のアーティキュレーションが表示されます。クリックしてドラッグすると、クリック&ドラッグで順番を並べ替えできます。右上隅の[×]をクリックしてプリセットからテクニックを削除、上のゴミ箱アイコンをクリックしてすべての奏法を完全に削除します。

④ キャンセル／保存

編集が完了したら[Save] (保存) をクリックします。保存したくないときは[Cancel] (キャンセル) を選択すると、元の設定に戻ります。

トップ・メニュー



① LED

インストゥルメントがロードされると緑色に点灯します。

② CPU メーター

CPUに負荷がかかると、メーターの隣が赤くなります。

③ DISKメーター

ドライブへの負荷が100%に近い、または100%を越す場合、高速なドライブの導入をご検討ください。

④ メモリ

使用中のRAMの容量を表示します。プリセットのロード時、メモリにロードされているインストゥルメントを表示します。

⑤ ボイス数

使用されている発音数を表示します。

⑥ リフレッシュ

インストゥルメントをリフレッシュします。Alt/option+クリックでプラグイン全体をリフレッシュします。MIDI ノートがハングアップしていたり、システム内のサンプルを移動した際に使用してください。

⑦ MIDIチャンネル

インストゥルメントを制御するMIDIチャンネルを設定します。anyを選択すると、インストゥルメントはすべてのMIDIメッセージに反応します。

⑧ チューニング

ノブを動かして半音単位でチューニングします。Shift+クリックすると、0.01半音単位でチューニングできます。Alt+クリックするとデフォルトに戻ります。

⑨ パン

ステレオ・フィールドで出力シグナル全体を左右にパンします。Alt+クリックすると中央値に戻ります。

⑩ ボリューム

インストゥルメント全体の音量を調節します。

⑪ レベル

出力シグナルのレベルを視覚的に示します。

⑫ プリセット設定

① ダイナミクス動作

ダイナミクス・フェーダーの動作を指定。

- FULL VELOCITY RANGE
- VELOCITY MAPPED TO DYNAMICS:
ショート・ノートのベロシティをモジュレーション・ホイールでコントロールできます。ソフト・テイクオーバー無効。
- COMPRESSED VELOCITY HIGH, COMPRESSED VELOCITY LOW:
ダイナミック・レンジを固定ダイナミック・レイヤーに制限。ソフト・テイクオーバー無効。

⚠ ソフト・テイクオーバーとは、モジュレーション・ホイールやダイナミクス・フェーダーが有効化するベロシティをキースイッチで指定する機能です。

② ベロシティ

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシティ・カーブから選択。

③ CC マッピング

- [RESET]: 当該インストゥルメントのすべてのCCマッピングがデフォルトに設定。
- [CLEAR]: プラグインのCCマッピングをすべて削除。

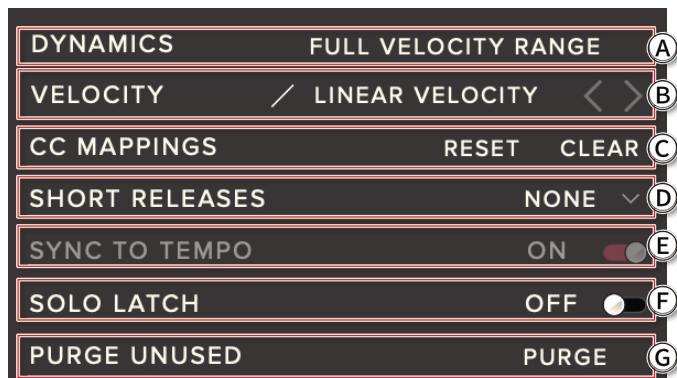
④ テンポに同期

有効にするとトレモロ奏法がBPMに同期します。CPU負荷が増しますので、CPUパフォーマンスを向上させたい場合は無効にするか、settingsでピッチストレッチ・アルゴリズムを変更してください。

⑤ ショート・リリース

リリース・サンプルを調整。

- TIMED: サンプルの長さよりも早くノートをリリースできます。
- UNTIMED: ノートの長さぶん鳴らし切る必要があります。
- NONE: ワンショット。



⑥ ソロ・ラッチ

- ON: ミキサーの複数チャンネルのソロ・ボタンを併用可能。
- OFF: ソロ・ボタンは単一チャンネルのみで機能。

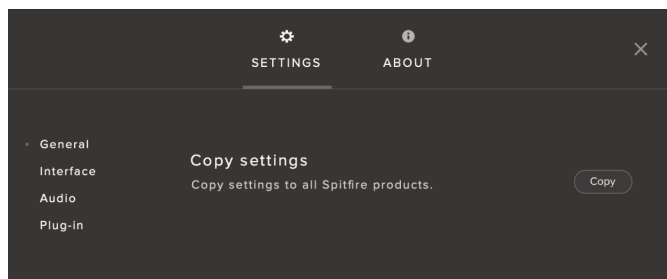
⑦ 不使用サンプルをパージ

ECO MODE のアクティブ状態を表示。さらに、これをクリックすると、選択したテクニック以外のすべてのサンプルをメモリーから削除。

⑬ プラグイン設定

Copy settings (設定のコピー)

コントローラの共通設定を他のSpitfireプラグインにコピーします。

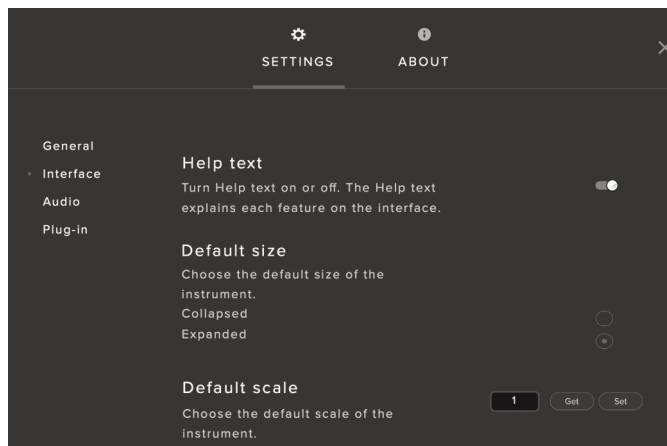


Help text (ヘルプ・テキスト)

プラグインの左下にパラメータ情報を表示します。

Default size (デフォルト・サイズ)

インストゥルメントがデフォルトで折りたたまれた状態で開くか、展開された状態で開くかを設定します。



Default scale (デフォルト・スケール)

プラグインUIを開いたときの大きさ。[Get]を押して現在のスケールを設定するか、値をタイプしてから[Set]と[Save]を押してください。

Show keyswitches (キースイッチ表示)

有効にすると、複数のテクニックを持つプリセットは、利用可能なキースイッチを赤で、選択中のテクニックを黄色で表示します。

Automatic unload with mixer fader (ミキサー・フェーダーでアンロード)

フェーダーを完全に下げた時に、RAMからデータをアンロードするようになります。

Gain units (ゲイン単位)

ゲインをパーセントではなくdBで表示できます。

Make controllers global (コントロールをグローバルに)

テクニックを切り替えてもコントローラの共通値を保持します。

Disable host automation (ホスト・オートメーション無効)

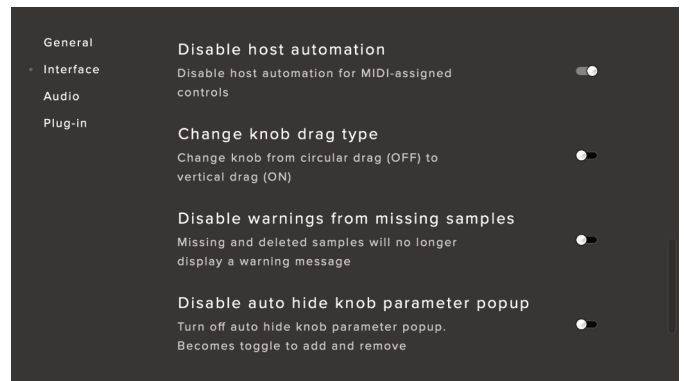
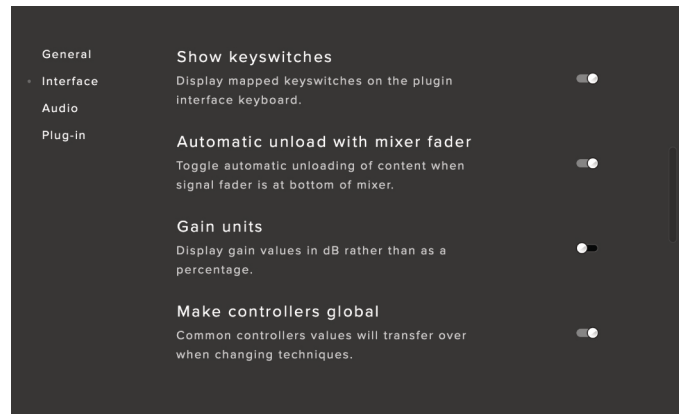
DAWからのホスト・オートメーションの有効/無効を切り替えます。

Change knob drag type (ノブのドラッグ・タイプを変更)

ノブをドラッグ操作するときのマウスの動作を変更します。

Disable warning from missing samples (サンプルの欠落による警告の無効化)

ライブラリのコンテンツが欠落している場合に表示されるプラグイン左上のエラーを非表示にします。



Disable auto hide knob parameter popup (ノブのパラメーター・ポップアップの自動非表示)

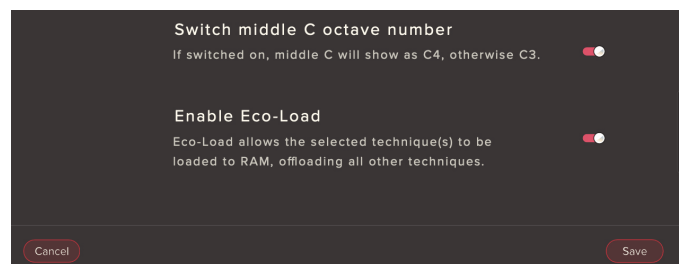
有効の場合、ノブをクリックすると常にコントロールメニューが表示されます。

Enable automatic exclusive mic group behaviour (マイク・グループの自動排他動作を有効化)


マイクのグループ化を解除したい場合は無効にしてください。例えば、AMBIENTマイクを有効にすると、POPマイクのグルーピングは無効になります。

Switch middle C octave number (ミドルCのオクターブ・ナンバーを切り替え)

ミドルCの値をC3とC4の間で変更します。異なるMIDI規格を使用するDAWで、キースイッチの表示を合致させる際に使用してください。

**Enable Eco-Load (エコロード有効)**

有効にすると、選択したテクニックのみがRAMにロードされます。キースイッチや新しいアーティキュレーションを選択すると、これもRAMにロードされます。

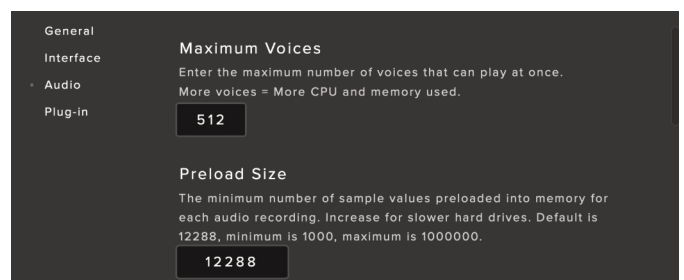
トップ・メニューのリフレッシュ・アイコン  を押すと、メモリ使用量の表示は現在選択されているテクニックにリセットされます。

Maximum Voices (最大ボイス数)

一度に演奏できるボイスの最大数を入力。発音数が多いほどCPUとメモリの使用量が増えます。

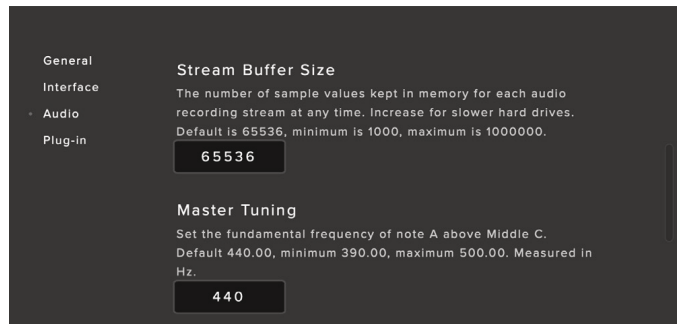
Preload Size (プリロード・サイズ)

各オーディオ録音のためにメモリにプリロードされるサンプル値の最小数です。ディスク・ドライブが遅い場合は値を増やしてください。デフォルトは12288です。



Stream Buffer Size (ストリーム・バッファ・サイズ)

各オーディオ録音ストリーム(サンプル)がメモリに保持されるサンプル値の数。低速のディスク・ドライブでは値を大きくしてください。

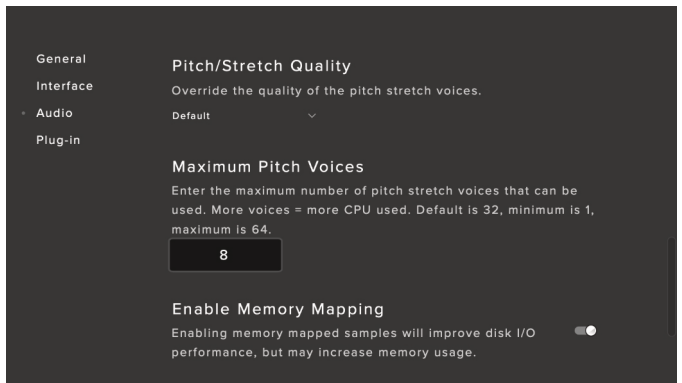


Master Tuning (マスター・チューニング)

プラグインのデフォルト・チューニングを変更します。例えば、A = 440HzまたはA = 432Hz。

Pitch/Stretch Quality (ピッチ/ストレッチ・クオリティ)

デフォルトのピッチ/タイム・クオリティを調整して、パフォーマンスを向上させたり、オーディオ・クオリティを改善することができます。使用するライブラリによっては非対応です。



Maximum Pitch Voices (最大ピッチ音色)

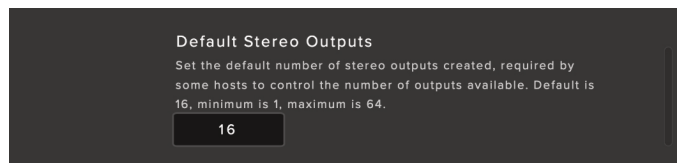
一度にトリガーされるボイス数を制限します。値が低いほどCPUの負荷を軽減します。

Enable Memory Mapping (メモリ・マッピングの有効化)

Windowsマシンではオフにするとパフォーマンスが向上します。

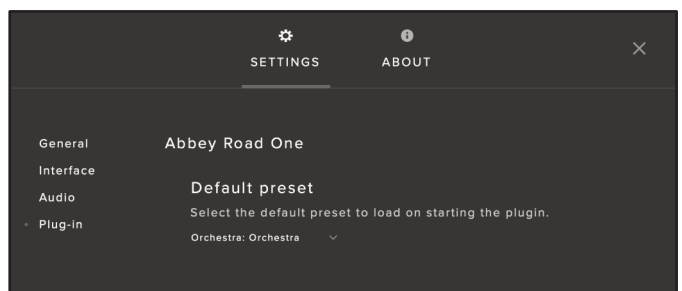
Default Stereo Outputs (デフォルト・ステレオ出力)

マイク・ルーティングのデフォルトの出力数。



Default preset (デフォルト・プリセット)

プリセット名をクリックし、リストからお好みのプリセットを選択してください。



マイク・シグナル

MIX 1

Simon Rhodesによるフルルーム・ミックス。TREEとOUTRIGGERSから構成され、厳選されたスポットがブレンドされています。甘美でリッチなパッセージ向け。

MIX 2

Simon Rhodesによるタイトなフル・ミックス。2つ目のTREEとOUTRIGGERSから構成され、厳選されたスポットがブレンドされています。よりスピーディーでディテールにこだわったサウンド向け。

VINTAGE 1

ユニークなRM1Bマイクのペアとクラシックなりボン・マイクを組み合わせた、ビンテージ・スコアリング・ステージ・サウンド。

VINTAGE 2

クラシックなりボン・マイクのペアを指揮者の側に配置し、ビンテージなスコアリング・ステージ・サウンドを形作ります。

POP CLOSE

オーケストラ・レイアウトにとらわれないフレキシブルなイメージを与えるため、中央にパンされたスポット・マイクのミックス。

POP ROOM

ソースを中央に配置する専用ルーム・ペア。POP CLOSEと組み合わせて使用します。

CLOSE

すべてのスポット・マイクを、演奏される楽器のためにサミングしたもの。

TREE 1

Abbey Road最高のトリオ、クラシックな無指向性真空管マイクで構成されたデッカツリー。

TREE 2

よりタイトでクローズなデッカツリー。より速く、より繊細な素材に適しています。

AMBIENT

2本の無指向性マイクロホンが部屋の後方に向かって配置され、OUTRIGGERSより高い位置にあるため、ルームアンビエンスが得られます。

5.1 サラウンド・ミックスや、ステレオ・ミックスに空間を加えるのに適しています。

OUTRIGGER

オーケストラの中間に設置された2本の無指向性マイク。どちらかのTREEと組み合わせると、より広い音像が得られます。

SPILL

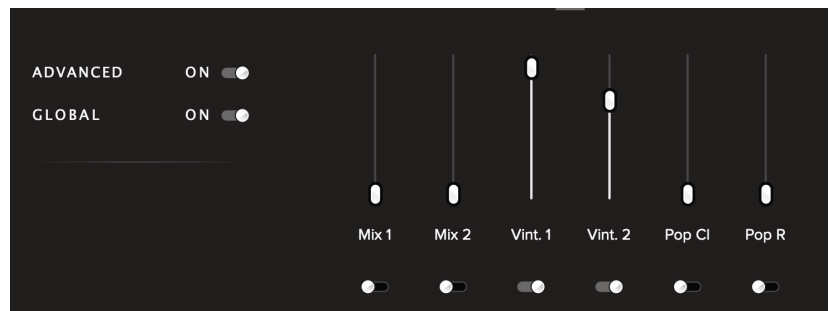
演奏されていないセクションのスポット・マイクを合計したもので、臨場感を出すのに便利です。

マイクのグルーピング

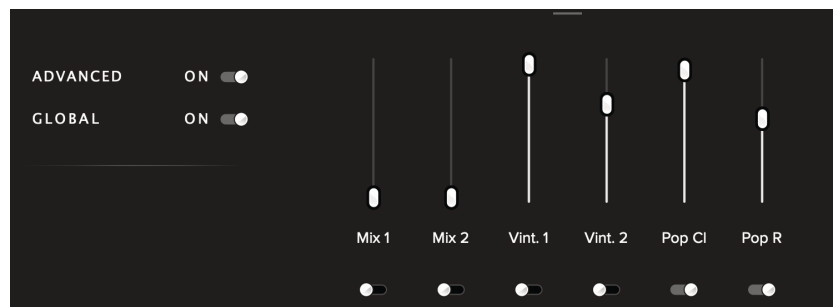
GROUP					
A	MIX 1				
B	MIX 2				
C	VINTAGE 1	VINTAGE 2			
D	POP CLOSE	POP ROOM			
E	CLOSE	TREE 1/2	AMBIENT	OUTRIGGER	SPILL

グループは、すべてのシグナルが有効になるとアクティブになります。以下はGROUP Cの場合です。

各シグナルの下にあるアクティブ・トグルを見れば、どれが有効になっているか一目瞭然です。



例えば、GROUP DのPOP CLOSE (図中'Pop Cl') など、異なるマイク・グループのシグナルをOnにすると、GROUP Cの両方のシグナルが自動的にOffになります。



この設定は、プラグイン設定のインターフェイスでオフにできます。

テクニック

LEGATO (8VE), VIBRANT LEGATO (8VE)

サンプル楽器でいうレガートとは、ある音から次の音に移る楽器の音をとらえるテクニックのことです。このディテールをとらえることで、リアルさが増しますが、モノフォニック（単音）で演奏する必要があります。

重なる音をトリガーするには、前の音を鳴らしながら次の音を鳴らす必要があります。このようにノートを重ね合わせさえすれば、エンジンは、あなたが‘legato transition’をトリガーしようとしていると認識します。

レガート情報

CC1 ダイナミック・ピーク・ポイント

ff	127	100%
mp	64	50%
pp	20	15%

インターバル・タイプ

■ SLOW

ベロシティ99以下を通常のスピードで演奏。→125ms

💡 ベロシティ40以下では演奏速度に関係なくSLOWのインターバルが発動します。

■ HARD

ベロシティ100以上、または速いスピードで演奏。→75ms

■ RUNS

高速フレーズのみ。→125ms

LONG (8VE) , VIBRANT LONG (8VE)

収録されているロング・ノートの中で最もありふれた、標準的な持続音です。基本的な演奏スタイルで、ビブラートの有無にかかわらず収録されています。

オクターブで録音。

STACCATO (8VE) , VIBRANT STACCATO (8VE)

記譜法上のスタッカート (Staccato) は、「短く、離れた」演奏スタイルを指します。サンプルでは通常、単体の短音となります。

オクターブで録音。

MORDENT (X4)

モルデント・アーティキュレーションは、上の音を素早く変化させるアーティキュレーションです。4種類の異なる音程からバリエーションを選択できます。

MIN 2ND (8VE), MAJ 2ND (8VE), MIN 3RD (8VE), MAJ 3RD (8VE)

オクターブで録音。

付録

FAQとトラブルシューティング

Q: システム要件

⚠ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

Q: プラグインの設定をデフォルトに戻したいのですが

以下のディレクトリにある.settingsファイルを削除して、設定をデフォルトにリセットできます。

Mac

Users/<ユーザー名>/Music/Spitfire Audio

Windows

C:¥Users¥<user>¥name¥AppData¥Roaming¥Spitfire Audio

Q: プリセットのリストが空です

ライブラリ・フォルダを移動した場合、Spitfire Audio Appの**Locate Library**機能を使用することで解決できます。ライブラリの再認証が必要な場合、Spitfire Audio Appの**Repair**機能を使用してください。

Q: ライブラリ左上に赤い感嘆符 (!) が表示されています

感嘆符をクリックすると詳細なログが表示されます。Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用して問題が解決する可能性があります。解決しない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム (英語) までご連絡いただき、ログを添付してください。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。ライブラリをハード・ドライブで購入された場合、Spitfire Audio Appでダウンロードを完了する前に、ドライブの内容をインストール先のマシンにコピーしてください。ライブラリをダウンロードした場合は、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用してください。

Q: Kontaktのサイド・パネルにライブラリが表示されない


Spitfire Audio独自のアプリ (スタンドアローン、プラグイン) は、KontaktやNative Access上で表示されません。

Q: インターネットに接続されていないマシンでのライブラリ認証

インターネットに接続されていないマシンでは当該ライブラリを認証できません。認証はインターネット接続されたマシン上でSpitfire Audio Appを通じて行います。

Q: 製品の再ダウンロード方法

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、**Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ (またはそのサブフォルダの1つ) にさまざまなファイルが表示されます。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/support のサポートチーム (英語) まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: ダウンロード速度について

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくと十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYouTubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されません

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！


Q: 製品のアップデート方法

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、 **Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/ から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します (ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります)。この段階で注文が引っかかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送

はい、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio App の **Repair** と **Locate Library** 機能を使用できます。ダウンロードの大部分は別のマシンで行えますが、認証プロセスを完了するためにはインターネット接続が必要である点にご注意ください。

Q: バグの報告

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡 (英語) ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト (ビデオ)、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません (使用許諾契約をご確認ください)。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?] (またはこれに該当する日本語表記) をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

テクニック、マイク、ミックス

TECHNIQUES

- LEGATO (8VE)
- LONG (8VE)
- STACCATO (8VE)
- VIBRANT LEGATO (8VE)
- VIBRANT LONG (8VE)
- VIBRANT STACCATO (8VE)
- MORDENT MIN 2ND
- MORDENT MAJ 2ND
- MORDENT MIN 3RD
- MORDENT MAJ 3RD

MIXES

- MIX 1
- MIX 2

MICROPHONES

- VINTAGE 1
- VINTAGE 2
- POP CLOSE
- POP ROOM
- CLOSE
- TREE 1
- TREE 2
- AMBIENT
- OUTRIGGERS
- SPILL

デフォルトのCCマッピング

CC#1	ダイナミクス
CC#7	グローバル・ゲイン
CC#10	グローバル・パン
CC#11	エクスプレッション
CC#17	リリース
CC#18	タイトネス
CC#19	リバーブ
CC#21	ビブラート
CC#24	近接マイク
CC#25	ツリー・マイク
CC#26	アウトリガー・マイク
CC#27	アンビエント・マイク

⚠ お使いのDAWや環境によっては、上記デフォルトのMIDI CC (コンティニューアス・コントローラ) と動作が合致しない場合があります。必要に応じて、環境にあった設定に調整してください。



Abbey Road One: Vibrant Reeds 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc. 2024/JUL issue
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>